



《教育目標》

- 自らの将来を切り拓く
- 行動に責任をもつ
- 心豊かに、他者と協働する

《校訓》

- 開拓
- 自立
- 協和

1 スクールミッションと3つのスクールポリシー

「未来を描け、自分を創れ」をスローガンに、「自分で考え、行動できる人」を育成します。「自らの将来を切り拓く」・「自らの責任で判断し行動する」・「心豊かに他者と協働する」を教育目標とし、本校の教育活動の3本柱である「授業・行事・探究」を通じて、本校生徒の活力・人間力をさらに向上させます。

(1) グラデュエーションポリシー

3年間の継続的な指導により、自己肯定力、コミュニケーション能力、挑戦する心と探究心等を身に付けさせ、人間力を向上させる。

(2) カリキュラムポリシー

基礎学力の定着をめざし、習熟度、少人数授業等きめ細かい指導を行う。ICT機器を活用した授業やアクティブラーニングを積極的に取り入れ、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」について、生徒の変容・成長を適切に把握するよう工夫する。

(3) アドミッションポリシー

自分の強みを認識し進路を切り拓くため、目標をもって学習や特別活動等に積極的に取り組む生徒の入学を期待する。

2 中期目標と方策

(1) 中期目標

- ①生徒に学力を確実に身に付けさせる。基礎・基本的な知識の習得及び発展的な学力を伸長する。
- ②学習指導、生活指導、進路指導の三位一体で計画的に実践する。進路目標に向かって生徒の可能性を最大限伸張する。
- ③新学習指導要領の教育内容を研究し、充実させる。
- ④学習と部活動を両立できる生徒の育成を図る。学習と部活動の両輪により社会人としての実践力を身に付けさせる。
- ⑤一人1台端末を有効に活用し、個別最適な学びと協働的な学びが実現できるよう研究する。
- ⑥生徒の心身の健康づくりを推進し、心と身体の健康を目指すとともに、他者に対する思いやりと情緒豊かな心を培わせ、健全な育成を図る。

(2) 方策

①学習指導・進路指導

新学習指導要領に基づく「カリキュラム・マネジメント」の確立を通して、主体的・対話的で深い学びを充実させる。「わかる授業」「魅力ある授業」を実践する。

②進路指導

3年間の計画的かつ系統的な進路指導により確実なキャリア教育を図る。キャリア教育を通して社会人を育てる。

③生活指導

基本的な生活習慣（時間厳守、身だしなみ、挨拶の励行、登下校マナー）を確立させる。

④部活動・特別活動

本校の部活動の指針に基づく活動内容の充実及び部活動の加入率の向上を図るとともに、学校行事の活性化及び学校行事を通しての人間力の向上を図る。

⑤健康づくり

心身の健康づくりのための組織的・計画的な取り組みを実践する。

⑥広報・募集活動

学校見学会及び学校説明会、中学校訪問、ホーム・ページの活用等、本校の情報発信に努める。

⑦学校経営・組織体制

企画調整会議の運営力の向上を図り、組織的な取り組みの実践による学校経営計画を実現する。

3 今年度の教育活動の取組目標と方策

①学習指導

- ア 各教科がスクールポリシーに基づいて「確かな学力」を身に付けさせる。習熟度別少人数授業（数）、少人数授業（国、理、英、家）、多展開授業（体）を実施する。東京都教育ビジョン(第4次)及び「東京の未来」戦略等に基づき、アクティブラーニング、ICT機器の活用等デジタル技術を積極的に活用する。グローバル化社会に対応するための学校設定科目の設置（中国語）、J E T・A L Tを効果的に活用する。
- ・朝学習及び週末課題の充実、生徒の実態に即した目標の設定。放課後や長期休業中の講習・補習の実施。
- イ 家庭学習を習慣化する取組みと指導。各種の検定に挑戦させる取組みと指導。
- ・宿題を課す。チャレンジ精神を培わせる指導を実践する。
- ウ 授業規律の確立と徹底により、規範意識の醸成を図る。授業を通して集中力や授業への取組む姿勢を向上させる。
- ・生徒の始業前着席と教員の始業時間及び終業時間厳守を図り、50分の授業を大切にする。
- エ 学力向上及び検定試験対応のための平日の放課後補講や個別指導の実施。
- ・教科及び学年等との組織的実施。
- オ 教科「人間と社会」の体験学習を充実させ、社会の一員であることを認識させるとともに奉仕の精神を培わせる。
- ・地域及び校内の清掃活動の実施。地域の福祉施設へのボランティアの実施。町内会へのボランティアの参加。
- カ 図書委員会の活動を活性化させるとともに、生徒の読書活動を盛んにする。
- ・ビブリオバトルの推進。図書館の利用促進。

②進路指導

- ア 3年間の計画的な進路指導（1年：調査、2年：体験、3年：実現）により、進路決定率100%とする。大学進学者には一般受験に挑戦させる。職業観、勤労観の育成を図るとともに自己発見・自己実現に繋げ、進路選択の能力を向上させる。
- ・1年：職業リサーチ、外部講師の講演会の実施。
 - ・2年：進路説明会、外部講師の講演会、体験授業、上級学校訪問の実施。
 - ・3年：教科担当者及び担任、進路指導部が緊密に連携をとり、面談や補習、個別指導を実施する。
 - ・全学年：キャリア講演会、外部講師による進路学習の実施。

③生活指導

- ア 身に付く確実な生活指導を行う。毎朝の校門での生活指導、安全教育指導を行う。
- ・教職員による毎日の遅刻防止、身だしなみ、挨拶、正しい自転車の乗り方（事故をゼロにする）等の指導を行う。
- イ 集団での指導を通して集団の一員としての自覚を養い、規範意識や協調性を培わせる。盗難をゼロにする。
- ウ 思いやりの心を育ませるとともに日頃より生徒の観察を行い、いじめを未然に防止する。いじめをゼロにする。
- ・いじめ防止アンケートを年間に3回実施する。また、家庭やスクールカウンセラー等と密に連携する。

④特別活動・部活動

- ア 道徳教育の全体計画やHR年間計画に基づく指導により、学校行事（文化祭、体育祭、合唱祭）に主体的に取り組ませ、他者と一つのことを成し遂げる体験を通して、連帯感や達成感、自信等を身に付けさせる。
- ・高槻祭（文化祭）、体育祭、合唱祭等の行事に積極的にかつ主体的に参加させる。
- イ 生徒会の活動を活発にする。部活動の参加率を向上させ、心身ともに健全育成を図る。部活動や生徒会活動の盛んな学校とする。オリンピック・パラリンピック教育を教科及び部活動を通して推進する。
- ・強豪校との合同練習を実施し、練習の質を向上させる。本校の部活動を近隣へ発信し、本校で部活動を頑張りたいと希望する中学生を獲得する。

⑤健康づくり

- ア 「TOKYOACTIVE PLAN for students」を基に、組織的に体力テストを実施し、生徒の体力の向上を図る。スポーツへの関心を高め、運動習慣の定着を図る。
- イ 教育相談を充実させ、生徒の心の対応をする。また、特別に支援が必要な生徒の対応をする。
- ウ 食育を実践するとともにアレルギー対応を教職員で連携して行う。

⑥広報・募集活動

- ア 学校見学会、学校説明会、中学校訪問、部活動の体験入部等を実施し、本校を志望する受検生を多く獲得する。教職員が全員体制で本校の良さを広報する。ホーム・ページの活用を促進する。

⑦学校経営・組織体制

- ア 地域及び近隣校との交流による地域に根ざした学校を目指す。
- イ 企画調整会議、職員会議、各委員会、朝の打合せ等の合理的で効果的な運営を実践する。
- ウ 若手教員の育成を図り、学校の活性化（授業改善、生徒指導力等）に繋げる。
- エ 「働き方改革推進プラン」に基づき、各種会議の上限時間を設定する、定時退庁を推奨する等、ライフワークバランスの実現を図ることにより、教職員が心身ともに健康で活力のある職場環境とする。
- オ 行政系職員と教員との連携を密にし、経営企画室の学校経営参画をさらに促進する。

項目	令和4年度数値目標	令和3年度	令和2年度	令和元年度	30年度	29年度
生徒の学校満足度	78%以上	91.0%	78.3%	80%	74.3%	71.5%
現役進路決定率	95%以上	92%	93%	92%	87%	93.0%
遅刻者数（クラス1日）	1.5人以下	2.39人	1.83人	1.5人	1.71人	1.65人
部活動加入率	80%以上	74%	65%	71.0%	74.5%	74.8%
入学者選抜1次応募倍率	1.20倍以上	0.82	1.37	1.28倍	1.22倍	1.22倍
学校説明会参加者	1300人以上	983人	1529人*	1300人	1124人	1347人